

2024年9月2日



「すまいる」の支援①



北但広域療育センター風
児童発達支援センター「すまいる」

北但広域療育センター風 児童発達支援センター「すまいる」



- 児童発達支援（2歳児から5歳児までの未就学児対象）
サービス提供時間：月～金 9：00～17：00
【グループ療育】 基本的には週1回 午前、午後とで別グループ実施（現在20グループ）
【個別療育】 個別療育 言語個別 運動個別 作業個別
【初回療育】 新規の方対象で、子どもさんの様子を見せていただきその後グループもしくは個別療育に繋いでいきます。
- 保育所等訪問支援（療育センター御利用で、豊岡市・香美町・新温泉町から受給者証を交付されている方）
保護者の希望に応じて訪問支援員が園や学校に出向き、個々の発達に合わせた配慮や環境へのアドバイス等、担当の先生方と連携を図りお子さまが楽しい園生活や学校生活を送る事が出来るように支援します。

すまいる基本方針



一人ひとりの個性に合った支援をします。



「わかった」「できた」「たのしい」につながる支援をします。



家庭・園・医療・福祉と連携を取りながら、
ご家族の思いに寄り添い安心した生活が出来るように
支援します。





4つの基本活動(本人支援)

思いに寄り添いながら
自己選択や自己決定を促
す事で、子どもが主体性を
発揮しながら活動に参加
出来る事を目指す



**自立支援と日常生活の
充実のための活動**

体験的な活動や遊び

4つの基本活動は組
み合わさる時もある

地域交流の機会の提供

**子どもが主体的に参画
できる機会の提供**





支援内容



本人支援（5領域）
グループ療育での発達支援
個別療育での発達支援

移行支援
園や学校への引き継ぎ
放課後等デイサービスへの繋ぎ



家族支援（きょうだいへの支援含む）
いつでも相談して頂ける体制作り
家庭を中心とした関係機関との連携



地域支援
保育所等訪問支援事業との連携
園や学校、医療機関、行政との連携





本人支援(5領域)

- 児童発達支援センター「すまいる」の本人支援は、個々の課題や伸ばしたい所を「健康・生活」「運動・感覚」「認知・行動」「言語・コミュニケーション」「人間関係・社会性」の5つの領域から考える事で本人支援の内容を明確にし、保護者や関係機関と同じ方向を見据えて支援することを大切にしています。※領域が複数重なる事もあります。



移行支援

- 豊岡市、香美町、新温泉町それぞれの市町によるサポートファイルを作成し、就学に向けて情報共有を行っています。また、必要に応じて関係機関との会議に参加するなど、御利用者様のライフステージの変わり目を丁寧に繋いでいける事を目指して支援しています。



家族支援

- いつでも相談して頂けるように下記の機会を設けています。
 - ★ニーズに応じて相談を受ける（家族支援Ⅰ・Ⅱ）
 - ★すまいるC a f éの実施（先輩保護者＝ペアレントメンターとの相談・座談の機会を設ける）
- 保護者学習会を開催しています。
 - ★おひさまテラス（①認知・特性について②具体的な支援の方法③具体的な支援の仕方）
3回コースを年に2クール行なっています。
 - ★ファンシィ
(テーマ例「入園・入学に向けて」「福祉サービスについて」「就学に向けて」「サポートブックを作ろう」など)
2か月に1回、講師：教育委員会・公認心理師・福祉職員・療法士（言語・理学・作業）など
- **親子通所**で実際に療育を見たり、体験してもらう事で御家庭との連携を図る。
- きょうだい児を含む、御家族支援を行います。
- 必要に応じて御家庭を中心とした関係機関との連携を行なう。



地域支援

- 保育所等訪問支援事業と連携を図り、園や学校での様子も知ることで支援の共有化を図る。
- 利用児童が在籍する園の先生や就学先の小学校の先生の見学受け入れをし、関わりや支援の共有をする。
- 必要に応じて園や学校、医療機関、行政との会議等を通じて連携を行ない情報共有をする。
- ボランティアの受け入れを積極的に行う。（絵本読み聞かせ・散髪・託児・園芸・イベント）
- 散髪ボランティアを依頼し、将来的に地域のお店で散髪出来ることを目指して練習する。
- 教育実習生の受け入れをし、療育の理解を広げていく機会や将来を担う人材育成を目指す。